

SNW 対話イン松江工業高等専門学校 2022 事後アンケート結果

□ 学生の性別、専攻・学年と希望進路(アンケート総数 11)

区分			人数
性別	男性		11
	女性		0
専攻・学年	電気情報工学科	5年	11
希望進路	就職	電力、送配電	3 (27%)
		半導体関連	2 (18%)
		製造業	2 (18%)
		未定	3 (27%)
	進学	電気・電子	1 (9%)
人数計			11

(1) 講演の内容は満足のものでしたか？その理由は？

区分	人数
(A)とても満足	4 (36%)
(B)ある程度満足	7 (64%)
(C)やや不満	0
(D)大いに不満	0
計	11

理由

A・原子力に関する疑問について詳しく知れたから。

- ・原子力発電や再生可能エネルギーについて考えるいい機会になったから。
- ・原子力発電を使うことで災害時にブラックアウトを防げることを学べたから。
- ・さらに知識を深められたから。

B・日本や世界のエネルギー事情を知ることができたから。

- ・講師の方々の貴重なお話を聞くことができ有意義だったため。
- ・私たちの質問に的確に答えてくださったため分かり易かった。
- ・世界や日本のエネルギーの現状とこれからを知ることができて良かった。
- ・記載なし。(3人)

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？

区分	人数
(A)とても満足	4 (36%)
(B)ある程度満足	6 (55%)
(C)やや不満	1 (9%)
(D)大いに不満	0
計	11

理由

- A・他の生徒の疑問の回答に対する逆質問を考える機会も設けられていたから。
- ・再生可能エネルギーについてみんながしっかり疑問や意見を言えていて、有意義なものになったと思ったから。
 - ・質問に分かりやすく答えてもらい、とても勉強になったから。
 - ・納得のいく意見を得られたから。
- B・原子力発電や電気料金の現在、今後の問題について意見交換できたから。
- ・深い内容まで話すことができたから。
 - ・疑問に思ったことの回答と、その回答に対する疑問について討論できたから。
 - ・記載なし。(3人)
- C・ディベートの進行があまりうまくいっていなかったと感じたため。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞きましたか？その理由は？

区分	人数
(A)十分聞くことができた	5 (45%)
(B)ある程度聞けた	5 (45%)
(C)あまり聞けなかった	1 (9%)
(D)全く聞けなかった	0
計	11

理由

- A・原子力規制委員会がどのような過程で審査を行っているのか、何が問題で審査が遅れているのか分かったから。
- ・図などを用いて説明されていたから。
 - ・素朴な疑問に対して丁寧な回答をいただいたから。
 - ・原発の運用期間についての疑問を海外の状況なども交えて教えていただいたから。
 - ・記載なし。
- B・質問をした理由と真意を聞いていただけたため。
- ・質問をしやすい環境をつくられていたから。
 - ・討論の時間で詳しく聞くことができたから。

- ・自分の用意した質問に答えてもらう機会があったから。
- ・記載なし。

C・記載なし。

(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？(複数回答可)

区分	件数
(A)新しい知見が得られた	9 (45%)
(B)マスコミ情報と対話会情報の違いがあった	6 (30%)
(C)自分の将来の進路の参考になった	1 (5%)
(D)教育指導の参考になった	2 (10%)
(E)新しい知見は得られなかった	0
(F)その他(具体例、)	2 (10%)
計	20

- (A)新しい知見が得られた。
 (B)マスコミ情報と対話会情報の違いがあった。
 (C)自分の将来の進路の参考になった。
 (D)教育指導の参考になった。
 (F)その他(具体例、日本で原発が再稼働しないことでエネルギー問題が起こっていることを知れた。)、その他(具体例、CCSの取り組み等)

(5)「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？

区分	人数
(A)非常にある	8 (73%)
(B)ややある	3 (27%)
(C)あまりない	0
(D)全くない	0
(E)どちらとも言えない	0
計	11

理由

- A・学生の新しい意見とシニアの専門的な知識を交換できる機会は必要だと思う。
- ・時代がかなり違ってくるため様々な意見を聞くことができる。
 - ・記載なし。(3人)
 - ・専門的な知識を持った人との対話は若い世代に正しい知識を与えるいい機会だから。
 - ・シニアの方々の今までの経験を聴くことで、将来のことについて考えられるから必要。
 - ・学生がシニアの技術者に話が聞けることは有意義だと感じた。
- B・記載なし。(3人)

(6) 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか？その理由は？

区分	人数
(A)勧めたいと思う	9 (82%)
(B)勧めたいとは思わない	0
(C)どちらとも言えない	2 (18%)
(D)その他	0
未記入	0
計	11

理由

A・学生の新しい意見とシニアの専門的な知識を交換できる機会は必要だと思う。

- ・いろいろな意見を聞けるから。
- ・記載なし。(5人)
- ・原発の知識を持つことで、適切に再稼働などの問題を考えることができるから。
- ・知識を深めるためにはかなり有効な機会だと思うから。

C・記載なし。(2人)

放射線、放射能に対して伺います。(複数回答可)

区分	人数
(A)やはり怖い	1 (8%)
(B)恐れる必要はない	9 (69%)
(C)理解できた	2 (15%)
(D)生活に有用	1 (8%)
計	13

(A)放射能はやはり怖い。

(B)一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた。(9件)

(C)一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた。(2件)

(D)放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた。

□ 原子力発電に対して伺います。

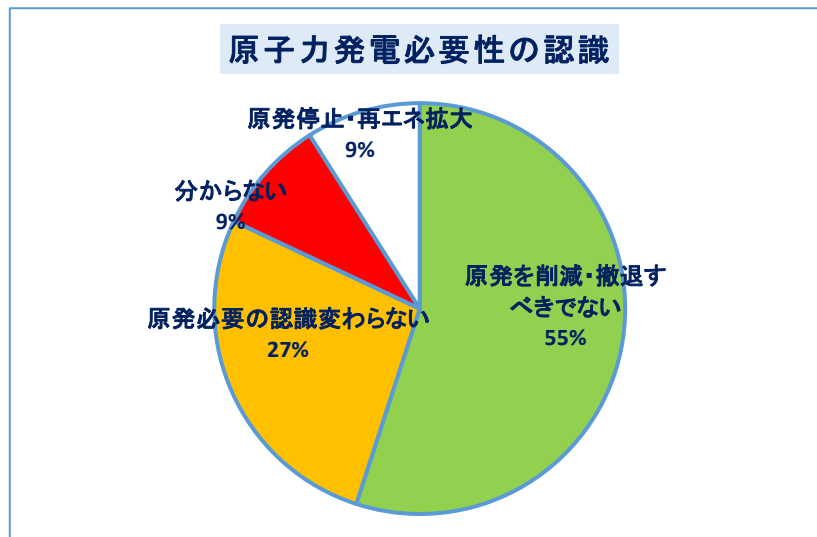
第6次エネルギー基本計画では、原子力については、安全性の確保を大前提に必要な規模を持続的に活用していくとしつつ、可能な限り原発依存度を低減するとしています。本日の講演も踏まえあなたの認識は次のどれですか？その理由は？

区分	人数
(A)強く認識／削減・撤退すべきでない	6 (55%)
(B)原発必要の認識は変わらない	3 (27%)
(C)原発を早期に削減・撤退すべき	0
(D)原発停止・再エネ拡大	1 (9%)
(E)分からない	1 (9%)
計	11

- (A)原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない。(6人)
- (B)原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった。(3人)
- (C)原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ。(0)
- (D)原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい。
- (E)どうすればよいかよく分からない。

理由

- A・原子力発電の割合を減らし再生可能エネルギーを主体にすると、電力の安定供給に大きな影響を与えると考えたから。
 - ・化石燃料は今後無くなるし、安定的に発電するなら原子力が有効であるから。
 - ・記載なし。
 - ・現時点で電気の安定供給ができなくなりつつあるから。
 - ・カーボンニュートラルの実現のためには原子力発電が必要になるから。
 - ・日本では火力発電の資源を海外に頼り切っているため、原子力発電で安定した電気を供給できるようにしなくてはならないから。
- B・記載なし。(2人)
 - ・原発がないと電気料金の高騰は止まらないと思うから。
- D・再生可能エネルギーが十分に発電できるようになるまでは原子力発電を稼働すれば良いと思う。
- E・温室効果ガスを排出せず、電力を安定供給することのできる発電方法だが、事故発生時の危険性や政府の安全対策の整備の不安があるため。



□ エネルギーについて伺います。

我が国は世界と歩調を合わせ 2050 年に二酸化炭素の排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルをエネルギー政策の柱としています。一方、最近のウクライナ侵攻に対するロシアからの石炭、石油、天然ガス輸入停止制裁により価格が高騰し、エネルギー供給も懸念されています。とりわけ国土狭隘、資源小国の我が国においては再エネも限界があり電力の安定供給が懸念され、現在でも停電の危機が報じられています。このような状況を踏まえ、2050 年カーボンニュートラル政策(脱炭素政策)と世界的エネルギー危機についてお考えをお聞きます。

(1) 2050 年カーボンニュートラル政策は必要と思いますか？その理由は？

区分	人数
(A) 必要であり、実現可能である	3 (27%)
(B) 必要であるが、実現するとは思えない	8 (73%)
(C) 必要ない	0
(D) わからない	0
計	11

理由

A・記載なし。(2人)

- ・政府や企業が力を入れているので可能だと思う。

B・環境への配慮を考えると必要であるが、具体的に何をして削減するのが曖昧過ぎるため 2050 年には実現できていないと思う。

- ・データから、今の進行状況では実現不可能と感じたため。

- ・現実的ではなく、現状進んでいないから。

- ・現時点では難しいと感じたから。

- ・アフリカなどの国がこれから発展していく中で二酸化炭素の排出があるため。

- ・二酸化炭素の排出低減は地球温暖化が今以上に進むのを防ぐために必要だが、原発の再稼働と新設を日本がしない限り、カーボンニュートラルは実現しないと考える。
- ・記載なし。(2人)

(2) 世界的なエネルギー危機についてどのように認識していますか？その理由は？

区分	人数
(A) 大変厳しい状況である	3 (27%)
(B) 厳しい状況である	8 (73%)
(C) それほど厳しいとは思わない	0
(D) わからない	0
計	11

理由

A・記載なし。(2人)

- ・ロシアとウクライナの戦争の影響やエネルギーの枯渇によって、これからは世界中でエネルギー不足が起こると考える。

B・ウクライナ侵攻の影響があると考えたため。

- ・記載なし。(4人)
- ・化石燃料がもう無くなるから。
- ・100年以内に化石燃料が使えなくなると生活に大きな影響を与えるから。
- ・ロシアのように国同士で協力することが出来ないから。

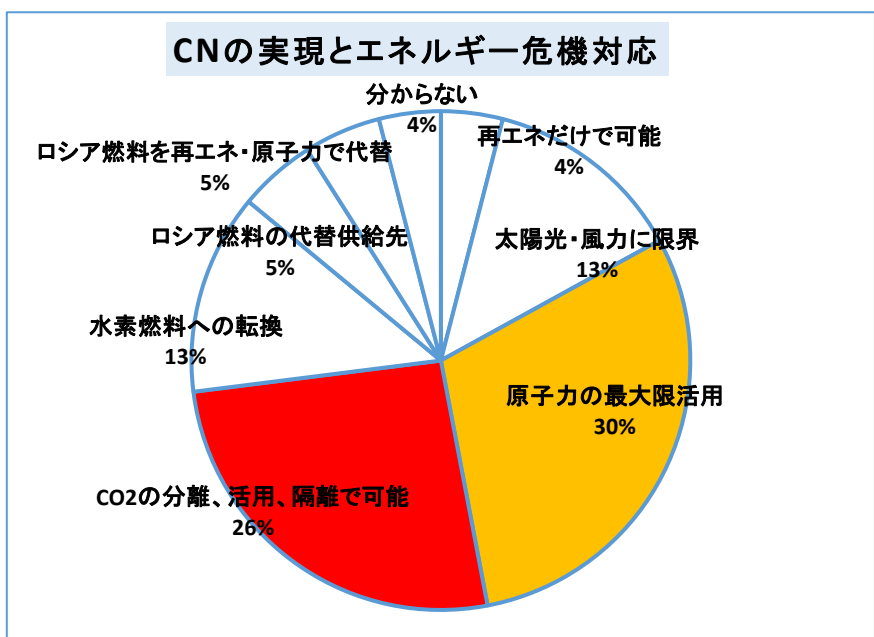
(3) わが国として2050年カーボンニュートラルの実現とエネルギー危機への対応はどうしたらよいとお考えですか？その理由は？(複数回答可)

区分	件数
(A) 再生可能エネルギーだけで可能	1 (4%)
(B) 不安定な太陽光や風力には限界がある	3 (13%)
(C) 原子力を最大限活用すれば可能	7 (30%)
(D) 排出される二酸化炭素の分離、活用、隔離をすれば可能	6 (26%)
(E) 水素燃料などへの燃料転換により可能	3 (13%)
(F) ロシアからの燃料の代替供給元を探す必要がある	1 (4%)
(G) ロシアからの燃料は再エネと原子力で代替できる	1 (4%)
(H) その他	0
(I) わからない	1 (4%)
計	23

理由

- ・CD／日本はエネルギー資源が少ないため、資源を安く輸入でき、電力の安定供給をするためにベース電源として運用できる原子力発電の割合を増やすべきだと考える。

- ・BD／記載なし。
- ・CE／記載なし。
- ・A／記載なし。
- ・CDE／この3つが活用できれば可能性はあるかなと感じたから。
- ・CD／CCSなどの技術の開発が進めば可能だと考える。
- ・BCDF／再生可能エネルギーでの発電で安定して電気を供給できるようになるまでは、火力発電に代わって原子力発電の割合を増やす必要がある。
- ・DEG／記載なし。
- ・I／記載なし。
- ・BC／記載なし。
- ・C／記載なし。



□ 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

区分	人数
自由記述	1 (9%)
未記入	10 (91%)
計	11

自由記述

・とても為になる講義をしていただき、ありがとうございました。

未記入

(10人)

以上